

会 議 録

会 議 名	第 6 2 回野田市市民活動支援センター運営協議会
議題及び議題ごとの 公開又は非公開の別	1 議案 (1) 野田市市民活動団体支援補助金審査会委員の推薦について（公開） 2 協議事項 (1) 令和 8 年度これまでの活動報告と令和 9 年度以降に向けて（公開） ① 開催結果報告 ・ 学習会（助成金） ② 中間報告 ・ 「(仮称) のだ市民活動ふれあいフェスティバル 2026」の進捗状況について 3 報告事項 (1) 機関紙「市民活動つうしん」及びメールマガジン「市民活動のだ通信」発行について（公開） (2) 市民活動団体支援補助金取組事例集の発行について（公開） (3) その他（公開）
日 時	令和 8 年 7 月 2 9 日（水） 午後 2 時から午後 3 時 2 5 分まで
場 所	野田市総合福祉会館 2 階 第 1 会議室
出席者氏名	会 長 立山 喜弘 委 員 北倉 恵美子、北村 一郎、後藤 すみよ、 芝田 栄太郎、谷村 節士、辻 朝子、 渡邊 勝男、山田 千英、浅野 泰泉（遅参） 事務局 市民生活部長 池田 亜由美 市民生活課長 須賀 良平 市民生活課長補佐 松井 智生 市民活動支援センター長 鈴木 智子 支援補助員 向佐 美知子

	コーディネーター 荒井 ハツヨ コーディネーター 藤野 孝子 コーディネーター 武原 忠志
欠席委員氏名	なし
傍聴者	なし
議 事	第62回野田市市民活動支援センター運営協議会の会議の概要は、次のとおりである。
1 開会 事務局から開会を宣言。 会議の成立について報告。 会議録作成のため、録音をすることについて了解を得た。 2 市民生活部長挨拶 池田市民生活部長挨拶 3 議事 議案(1) 野田市市民活動団体支援補助金審査会委員の推薦について 議長（立山会長） 議案(1)について説明を求めた 須賀課長 議案(1)「野田市市民活動団体支援補助金審査会委員の推薦について」を説明した。 議長（立山会長） 審査会委員の選出方法について、各委員に意見を求めた。 辻委員 指名推選でお願いしたい。 議長（立山会長） 他に意見はないかを問うた。 芝田委員 かねてより、できるだけ多くの委員に審査委員をお願いしたいということで委員の中でも経験年数の少ない方を推選してきた。当協議会以外の委員を経験していただきたいという考えから、そのような推選をしていたと思う。 辻委員	

自身が審査委員となった際、もう 1 人の審査委員は経験者であった。資料の見方や審査基準などを教えていただくことができて、とても勉強になったと記憶している。経験されたことのある委員と新しい委員というのもよいと思う。

議長（立山会長）

他に意見はないかを問うた。

<異議無し>

議長（立山会長）

どなたか推薦したい委員はいるかを問うた。

辻委員

渡邊勝男委員と谷村節士委員を推薦したい。

議長（立山会長）

他に推薦したい委員はいるかを問うた。

<なし>

議長（立山会長）

渡邊勝男委員と谷村節士委員を推薦することよろしいか。

<異議なし>

議長（立山会長）

異議なしとのことなので、議案(1)については以上のとおりとする。

協議事項(1) 令和 8 年度これまでの活動報告と令和 9 年度以降に向けて

議長（立山会長）

協議事項(1) について、説明を求めた。

荒井コーディネーター

「①開催結果報告 学習会（助成金）について」を説明した。

議長（立山会長）

協議事項(1) について、委員に意見を求めた。

芝田委員

採択結果について、子供ゆめ基金の第 1 次は 3 0 0 万円超だが、第 2 次は 2 0 万円程度となっている。基金において第 2 次の予算はどの程度なのか。

荒井コーディネーター

第 2 次の申請は 5 月頃から開始するが、対象活動期間を 1 0 月から翌年 3 月までとしている。一方、第 1 次は対象期間を 4 月から翌年 3 月までとしており、第 2 次の申請数は少ない傾向にある。

谷村委員

学習会には 1 4 団体が出席したとのことだが、全団体が申請の意向があるの

か。

荒井コーディネーター

このうち2団体は申請を見送ることとしているが、そのほか12団体は申請の意向を示している。

谷村委員

申請するにあたり、経理状況や金融機関の口座を持っている等の条件はあるか。

荒井コーディネーター

採択された際には必要となる。申請団体に対してこのような必要なこともセンターがサポートしていく。

議長（立山会長）

申請するにあたり、センターのサポートや支援などはあるか。

荒井コーディネーター

行っている。各団体から希望する助成金の聞き取りをしており、担当コーディネーターが準備段階から年間をとおして支援をしている。

議長（立山会長）

新規で3団体が参加したとあるが、助成金の種類によっては実績が1年以上あることが必要等の条件がある。こういったことも配慮しているのか。

荒井コーディネーター

考慮した上で助成金の紹介をしている。

議長（立山会長）

助成金申請を目的に団体登録するようなことはないか。

荒井コーディネーター

今まで、そのような団体はないと思う。

渡邊委員

自身が所属している団体では、今年3つの助成金を申請する。現在、2つが申請済みであるが、もう1つを会員で話し合いながら作成しており、会のまとまりができたという効果があったと感じる。

荒井コーディネーター

渡邊委員がおっしゃったとおり、助成金申請に必要な会則や役員、予算決算などを作成することで団体の確立に繋がることも望んでいる。

後藤委員

助成金の項目において国際交流に関するものが少ない。子供育成やシニアに対する支援も大事ではあるが、国際交流についても支援項目が増えるとよいと思う。

山田委員

自身の所属する法人では、いくつかの助成金を受けた。他団体もこのような援助を活用するとよい。

谷村委員

申請にあたり、団体の預金残高等も審査項目になるのか。

荒井コーディネーター

助成する企業によってではあるが、資金が多くある団体は対象外となる場合や、あまりに自己資金が少ない団体に対しては運営に不安を感じるため対象外とすることもある。

池田市民生活部長

今年度から、コーディネーターが団体へ出向いて実際の活動や悩みを伺っている。これに対し、民間助成の活用、法人の体制や会計の整備によるステップアップを提案できると思う。コーディネーターが出向き課題を共有することに意義がある。

議長（立山会長）

企業が助成金説明のために来所したとのことだが、依頼すれば来ていただけるのか。

荒井コーディネーター

単独企業に依頼するのは難しい。都内などで複数の企業が集まり説明会を開催することがある。

議長（立山会長）

② 中間報告「(仮称) のだ市民活動ふれあいフェスティバル2026」の進捗状況について、説明を求めた。

鈴木市民活動センター長

「(仮称) のだ市民活動ふれあいフェスティバル2026」の進捗状況について」を説明した。

議長（立山会長）

参加団体数は。

鈴木市民活動センター長

58団体である。

議長（立山会長）

部会長は報告のあった4名のみか。

鈴木市民活動支援センター長

このほかにポスター部会があり、この部会長には社会福祉協議会事務局長に

決定している。ポスター部会はポスター展審査のみのため、部会は開催していない。

辻委員

設立総会及び第1回全体会議において、野田ガスホールを利用する団体を始めいろいろな方々から意見が出て、とても活発な会議となった。私たちが気付かなかったことや進め方に対する意見はイベント当日までには解消したい。その上でまだ積み残しがあれば次回に活かしていきたいと感じた。

芝田委員

今回、実行委員会長を引き受けた。それ以前からフェスティバルに関わっていたので、会場配置を決めるにあたり事務局案を作成したほうがよいと伝えたところ、実行委員会に参加した数団体からは「相談してほしかった」との意見もあった。次回開催時は会場の希望を確認するのがよいと感じた。

また、ガスホールの来場者が少ないということが問題となった。これについては、今後役員会などで良い案がないかを聞いてみようと思う。

山田委員

このフェスティバルにおいて、市内学校の吹奏楽演奏などを行ったことはあるか。

須賀市民生活課長

そういったイベントはなかったと思う。昨年度に野田ガスホールで参加団体による舞台発表を行ったが、それは市制施行75周年記念事業として開催したものの。

山田委員

学校の吹奏楽演奏を行うとその親なども見に来るので、活気が出て来場者が増えるのではないか。

議長（立山会長）

子供たちにも来てもらえるような催しものはあるか。

鈴木市民活動支援センター長

男女平等共同参画推進課主催で、午前中に子供向けの映画会、午後には若い世代向けの講演会が開催される。フェスティバルと同時開催という位置づけだが、子供たちに来場を促すという効果はあると思う。

先ほどの補足として、参加団体は58団体だが、昨年度の参加団体は66団体であったため、8団体減となっている。要因としては、同日に理科大祭が開

催されることや、仕事や家庭の都合で土曜日は参加できないというものであった。また、今回は隣接する子ども館を会場として、紙芝居や人形劇などの子供向けのイベントを行うこととした。これにより会場が余裕をもって使うことができる考える。このほか、勤労青少年ホーム駐車場にキッチンカーによる飲食販売を行い、飲食や休憩ができるスペースを設けることを考えている。

池田市民生活部長

市内に子ども館が 7 館あるが、すべて指定管理者であるコマーが運営している。フェスティバル当日、中央子ども館で小学生のサークル活動があり、その子供たちも参加していただけるほか、指定管理者により市内 7 館に周知していただく。これにより親子の参加が見込める。

議長（立山会長）

ほかに意見がないようなので、協議事項(1) について承認いただけるか。

< 異議なし >

議長（立山会長）

異議なしとのことなので、協議事項(1)のとおりとする。

報告事項(1) 機関紙「市民活動つうしん」及びメールマガジン「市民活動のだ通信」発行について

議長（立山会長）

報告事項(1) について、説明を求めた。

武原コーディネーター

「機関紙「市民活動つうしん」及びメールマガジン「市民活動のだ通信」発行について」を説明した。

議長（立山会長）

報告事項(1) について、委員に意見を求めた。

北倉副会長

メールマガジンはとてもよいと思う。

議長（立山会長）

メールマガジンは市民も申し込めるのか。

武原コーディネーター

申込みは可能である。市外の方についても

議長（立山会長）

市外の方でも申し込めるか。

武原コーディネーター

可能である。このほか、東葛飾地域の各市市民活動支援センターや名刺交換した方にも送付し、市民活動について広報をしている。

鈴木市民活動支援センター長

補足であるが、今までは団体のパンフレットやポスターなどをセンター内に掲示していた。このたび、総合福祉会館3階のエレベーターホールにある掲示板を社会福祉協議会より譲りうけたことから、この掲示板を利用して団体のチラシなどを掲示することとした。団体で広報したいパンフレットなどがあればセンターへ問い合わせしてほしい。

北倉副会長

市役所ロビーにある掲示板の裏側に、福祉団体や市民団体の広報が貼っている。

池田市民生活部長

小さいものだがスペースがある。通りかかるだけで目に入るような場所に置きたいと思っている。

北倉副会長

小さいものでも、目立つものが週替わりで掲示されていると目につきやすい。そんな引きつけ方など、小スペースであったとしても工夫さえあればいいのではないか。

議長（立山会長）

ほかに意見がないようなので、報告事項(1)について承認いただけるか。

<異議なし>

議長（立山会長）

異議なしとのことなので、報告事項(1)のとおりとする。

報告事項(2) 市民活動団体支援補助金取組事例集の発行について

議長（立山会長）

報告事項(2)について、説明を求めた。

向佐支援補助員

「市民活動団体支援補助金取組事例集の発行について」を説明した。

議長（立山会長）

報告事項(2) について、委員に意見を求めた。

議長（立山会長）

事例集はどのように活用されているのか。

向佐支援補助員

主に、市の市民活動団体支援補助金の申請を検討している団体が参考になっている。事例集を読むことでどのような事業に活用できるか理解しやすくなっていると思う。

議長（立山会長）

どのような内容を記載しているのか。

向佐支援補助員

補助金を活用した団体の概要、補助金額、及びどのように補助金を活用したかを写真も含め記載している。

北倉副会長

何年ごとに発行しているのか。

向佐支援補助員

毎年発行している。

北倉副会長

カラー印刷にならないのか。

向佐支援補助員

冊子はカラーではないが、ホームページで公開しているものはカラーとなっている。

北倉副会長

発行部数を減らしても、カラーにしたほうがいいと思う。わかりやすく視覚に訴えることができ、また写真もモノクロだとわかりにくいのではないか。

議長（立山会長）

予算の関係なのではないか。

北倉副会長

印刷業者に依頼すれば、100部単位で発注できるのではないか。

須賀市民生活課長

配布用の冊子の場合は予算化する必要があるため、庁内で検討したい。

芝田委員

事例集を発行することで、団体がこんなふうに補助金活用しているなら、自

分たちの団体も活用できるのかなど、説明を聞くきっかけとなる。冊子に知っている団体が掲載されていれば、その団体に聞いたりすることもできる。

議長（立山会長）

検討していただくようお願いしたい。

議長（立山会長）

ほかに意見がないようなので、報告事項(2)について承認いただけるか。

<異議なし>

議長（立山会長）

異議なしとのことなので、報告事項(2)のとおりとする。

議長（立山会長）

そのほかに意見はあるか。

渡邊委員

最近、まめメールで市民団体の案内があったと思うが、配信するにあたりどのようなルールで運用しているのか。

鈴木市民活動支援センター長

先日、市民団体が開催するワークショップについてのまめメールが配信されたが、それについては教育委員会によるものである。当イベントについては教育委員会が後援をしていることから、担当部局である教育委員会が配信したものの。

渡邊委員

自身の団体も、行事の際は教育委員会や市の後援をいただいている。その場合はまめメールで配信していただけるのか。

鈴木市民活動支援センター長

確認してから改めて回答したい。

渡邊委員

依頼があればまめメールは配信するのか。

須賀市民生活課長

担当課が配信できる仕組みではあるが、その基準が手元にないため明確にお答えできない。次の協議会で回答したい。

松井市民生活課長補佐

次回の市民活動支援センター運営協議会の日程について、令和8年10月29日を予定している。

議長（立山会長）

会議の閉会を宣言した。